

研究機器部門 特別利用申請書 (他機関：ID カードを所持しない方用)

申請年月日		年 月 日	
申請の種類 (どちらかに✓をつける)		☐ 新規 ☐ 更新	
(フリガナ) 利用者氏名 (自署)			
所属機関		(機関名) (部署 / 役職)	
連絡先	電話番号	※所属機関の固定電話等	※携帯電話等で申請者に直接連絡が取れる番号
	メールアドレス ※所属機関で発行されているもの		
研究テーマ			
利用目的等		☐ 本学の教員と共同 (又は受託) 研究を実施中 ☐ その他 (具体的に記入) ()	
利用予定期間及び使用頻度		年 月 日～ 年 月 日 ☐ 毎日 ☐ 週に 回 ☐ 月に 回	
本学受入れ部署名			
〈利用に関する確認事項①〉※申請者本人がチェックしてください。 1) 研究機器部門の利用にあたっては、最新の利用手引きを精読し、本学の規程、利用手引等を遵守します。 2) 当部門からの連絡事項がある場合は、電子メールにて受け取ることを承諾します。 以上に ☐ 同意します			
〈利用に関する確認事項②〉※本学受入教員がチェックしてください。 ☐ 共同研究者等が単独で使用する機器・設備については、使用方法、使用ルールなど十分に説明を行います。 ☐ 機器・設備の予約、取得データの管理は原則として受入教員が行います。 ☐ 共同研究者等の入室はカードを発行している場合は申請者のカードを使用、カードを発行していない場合は、受入教員が必ず同伴して入室します。(申請者のカードは、利用機器のある部屋のみ登録されています。) ☐ 共同研究者等が利用中に機器や設備等に故障や不具合が発生した場合は、速やかに研究機器部門へ届け出るとともに万一、過失を伴う場合は受入部署が責任を持って対応いたします。 受入担当教員氏名 (自署) _____ 連絡先 _____			
上記の者が、研究機器部門特別利用について申請することを承認します。 なお、申請者の利用により利用料が発生する場合は、受入部署で負担いたします。 受入部署所属長 氏名及び印 _____ (印)			

(注意事項)

- ・本申請による利用の許可は年度末までです。翌年度も継続して利用する場合は、年度ごとに申請してください。
- ・共同研究等実施中の場合は、契約期間を超えての申請はできません。契約書又は覚書の写しを必ず添付してください。
- ・利用目的が「その他」の場合は、研究計画書等利用目的が分かる書類を添えて提出してください。
- ・「利用予定機器」についても忘れずに記入してください。

	機器の名称		場所	設置している機器の型番
	☐			
利用予定機器 (該当するものに ✓をつける) ※必要に応じて行 を追加してくださ い	☐	電子顕微鏡	307	HT7800、S-5000
	☐	ウルトラマイクロトーム	306	ULTRACUT-N、PTX
	☐	リトラトーム	306	REM-710
	☐	共焦点レーザー顕微鏡	304	STELLARIS 8、TCS SP8
	☐	クリオスタット	306	CM3050S
	☐	レーザーマイクロダイセクション	306	LMD7000
	☐	DNA シーケンサー	308	Seq Studio (※)
	☐	リアルタイム PCR 装置	308	Quant Studio5
	☐	デジタル PCR 装置	308	QX-200
	☐	ICP 発光分析装置	309	iCAP 6300 (※)
	☐	超遠心機	310	Optima MAX-XP、XL-100、 XE-100
	☐	遠心機 (超遠心機を除く)	310 314	CR21G、AvantiJXN-30、 Centrifuge5810R
	☐	セルソーター	311	FACSAria Fusion (※)
	☐	動物用 CT、軟 X 線発生装置	316	LCT-200、M-150WE
	☐	In vivo2D 発光・蛍光・X 線イメージングシステム	316	IVIS Lumina XR seriesIII
	☐	ケミルミイメージングシステム	311	FUSION SYSTEM FX7、
	☐	プレートリーダー	311	Varioskan Lux
	☐	明視野顕微鏡	306	ECLIPSE 80i
	☐	蛍光顕微鏡	306	BZ-X700 BZ-X800L
	☐	実体顕微鏡	306	SZX12、Az100
	☐	PCR 装置	308	ProFlex PCRSysstem
	☐	超微量分光光度計	308	Nano Drop ONE
	☐	蛍光光度計 (フルオロメーター)	308	Qubit 4
	☐	ユーティリティ (製氷機・純水装置)	310	
	☐	ユーティリティ (液体窒素) (※)	313	
	☐			
	☐			
	☐			

※ (※) の表示がある機器の利用には、利用料がかかります

< 参 考 > 研究機器部門利用料 (2024 年 4 月 1 日現在)

- ・ Seq Studio 150 円／サンプル
- ・ FACS Aria Fusion 200 円／時間
- ・ icap6300 400 円／MPa (ネルタル使用量)
- ・ 液体窒素 400 円／L

(様式 1-3)

＜研究機器部門記入欄＞

受付	技師長	部門長	センター長	特別利用の可否
				可 ・ 否
入室カード				備 考
☐ 申請済み又は申請予定 ☐ 申請しない (カード番号)				
項 目		入力日	担当者	その他
カードリーダー登録 ☐ 要 ☐ 不要				(入室許可エリア)
登録完了連絡 (メール)				(入室可能時間) パターン 2 平日 : 9 : 00-18 : 00 ※ネットワークアカウント設定不要